

# 小牧南遺跡 第3次 (No.1)

所在地：四日市市小牧町

遺跡までの交通手段：

＜三岐鉄道＞

保々駅下車 南へ徒歩約15分

＜道路＞

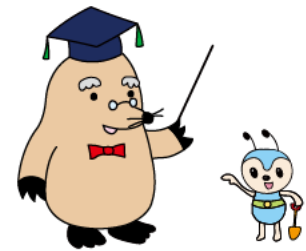
国道365号を北進、まきのき台1丁目交差点を左折し、400mほど北進した西側が発掘調査現場です。

※高速道路の工事現場にあるため、普段は中に入れません。10月～11月頃に現地説明会を行う予定です。

位置情報URL：<http://www.map.pref.mie.lg.jp/index.html?l=35.0418961451304,136.566166839981>

発掘調査期間：平成27年6月～平成28年1月（予定）

発掘調査面積：5,900㎡（予定）



## 第3次調査がはじまります！

平成25年度に行った第2次調査区に隣接する部分を調査します。前回の調査では、主に縄文時代中期（今から約4,000年前）と弥生時代終末期～古墳時代前期（今から約1,700～1,800年前）の遺構や遺物が見つかっています。

今回の調査では縄文時代の竪穴住居や掘立柱建物がみつかった箇所南側と西側、弥生時代～古墳時代の竪穴住居が集中してみつかった箇所の北側などを調査するので、一昨年同様たくさんの遺構や遺物が発見されることが期待されます。



第2次調査で発掘された住居跡じゃよ。たくさん見つかったのう！



モグ博士



アーリーちゃん

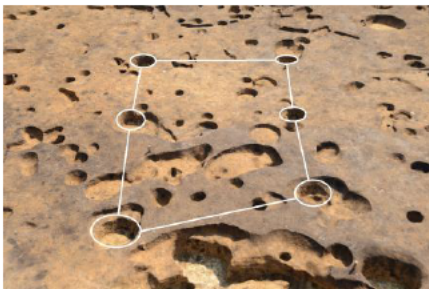
今年調査するところは水田の向こうの草が生えているところよ。となりで橋脚の建設も始まっているのね。



## 第2次調査でみつかった遺構・遺物

### 縄文時代中期

掘立柱建物（ほったてばしらたても）5棟や竪穴住居（たてあなじゅうきょ）5棟、埋甕（うめがめ）などがみつかりました。縄文時代の掘立柱建物は県内では大変珍しく、複数棟の建物が確認された集落遺跡は県内ではじめてです。また、当時の墓と考えられる埋甕からは、垂飾（すいしょく）が底におかれた状態で出土しました。このように墓の副葬品（ふくそうひん）として納められていた例は、県内でははじめてです。縄文土器・石鏃（せきぞく）・石斧（せきふ）なども出土しました。



掘立柱建物



埋甕（底に垂飾が置かれています）



垂飾

### 弥生時代終末期～古墳時代前期

竪穴住居 45 棟や掘立柱建物 9 棟などがみつかりました。料理を盛り付けるときに用いられていたと思われる高杯（たかつき）や煮炊きに使われていたと思われる甕（かめ）、砥石（といし）などが出土しました。



高杯・甕



砥石

### 【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所  
〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1  
電話番号：059-363-3195/ファックス：059-363-3196  
E-mail：[maibun@pref.mie.jp](mailto:maibun@pref.mie.jp)